2019 年度事業 進捗報告書（実行団体）

● 提　出　日　：　２０２２年　　９月　３０日
● 事　業　名　：　狩留家特産「狩留家なす」の物流センターを整備し地域の活性化を推進する
● 資金分配団体　：　中国５県休眠預金等活用コンソーシアム
● 実 行 団 体　：　NPO 法人　ＮＰＯ狩留家

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
① 物流センターが整備され、狩留家なすの出荷数が増加している。	‘① 狩留家なすの出荷数 ‘② 物流センターの稼働率	① 80,000 本 ② 200/365 日（54.8%）	令和４年度末 令和４年度末	R3 年度後期 ①10 月度 129.2%と上期の劣勢を一挙にカバーし通期で 68,117 本は昨対１０2.7%の出荷となり、令和４年度の目標出荷本数 80,000 本対比では 85.1%で終了した。 計画との主な乖離要因は 8 月の超低温多雨の為生育不良と病害虫の発生に見舞われ、加えてコロナ禍で集団での技術指導の定例化が出来ず技術指導が不十分であったことにもよる。 R3 年度の苗の作付けは 1,717 本、R4 年度の作付けは 1,876 本を予定している。（昨対 109.3%） R3 年度の苗木一本当たりの収穫数が 39.7 本となった。	2

				R４年度の出荷目標80,000本に対しR４年度の作付け本数は1,896本の苗の作付けであり、苗木１本当り43本の収穫、出荷本数目標は達成できる見込み。 **‘②アクセス道路未整備のため、本年度は試行にとどまった。** R4年度前期 ‘①R３年度は冷夏、多雨に見舞われ日本全国野菜全体が不作に終わった。R４年度は反対に５月～８月が猛暑で、野菜は近年になく大豊作で野菜価格の大暴落が続いた。又異常高温の為、７月の収穫は予想外に多くの収穫があったが、７月下旬から８月に、うどん粉病やアブラムシの大量発生で品質を大きく落とし規格外品が多発し総体の出荷本数を下げた。 総出荷数 R４年度上期　実績　62,309本 R4年度上期　計画　67,284本　計画比　92.6% R3年度上期　実績　57,312本　前年比108.7% 計画差△4,975本　前期差＋4,997本 ‘②広島市の下水道工事の遅れにより物流センターが使用できない期間があったが、６月からは稼働した。同センターの稼働率は目標に達していないが、会議や見学受け入れなどにも活用しはじめている。	2 3 2

②HP が完成しオンライン販売が可能となり、既存の販路と合わせて販売数が増加している。	‘① オンライン販売数 ‘② その他販路での販売数	‘① 2,000 本 ‘② 78,000 本	令和 4 年度末 令和 4 年度末	R3 年度後期 HP については、R4 年 2 月に再構築が完了し、オンライン販売は EC サイトの審査段階まで進み、R4 年度の完成を見込んでいる。 その他の販路での新規販売では、広島三越経由の中国新聞販売店によるギフト直販により７８件のギフトを受注した。 新規外食産業からチェーン店を含む５企業から新規受注があったが、コロナの為休業などで継続できず、コロナが終了してから新規に取り組むことで大きな売上には繋がらなかった。 R4 年度前期 ‘①実績　672 本　計画比 33.6%　で終了した。計画よりは遅れているが、EC サイトが稼働したことで、新たな問い合わせが入ってきている。 ‘②実績　62,309　計画比 92.6%　前年比 108.７% 計画よりは遅れているが、HP が完成したことで、その他販売でも新たな問い合わせが入ってきている。	3 3 3
‘③狩留家ブランド戦略が策定され、戦略に沿った広報が実施されるととも	‘① 狩留家ブランド゛戦略の策定 ‘② 広報計画の策定	‘① 狩留家ブランド戦略が策定されている	令和 3 年度末 令和 3 年度末	R3 年度後期 ‘①まとめ段階で「まん延防止等重点措置」が出されたことで検討を中断した。	3

に、それらを支える広報ツール（HP 等）が完成している。	‘③ HP のリニューアル	‘② 広報計画が策定されている ‘③ HP がリニューアルされている	令和 3 年度末	‘②広報計画は、ブランド戦略策定後となるため、検討が進んでいない。 ‘③広報計画の策定の遅れにより、必要性の低い情報の削除、アクセス情報の収集機能の付加、EC サイトの決済申請までの対応でいったん完了し、令和 4 年 2 月に公開した。広報計画策定後にブラッシュアップに取り組む。 R4 年度前期 ‘①全住民アンケートの実施により、ブランド浸透状況を調査することとし、７月に調査を実施、分析中である。 ‘②広報計画は、ブランド戦略策定後となるため、検討が進んでいない。 ‘③広報計画の策定の遅れにより、今年度も開発を優先して 5 月に EC サイトを完成させて公開したことでシステム開発は完了し、HP の情報は随時更新している。広報計画策定後にブラッシュアップに取り組む。	4 2 3 4 2
‘④狩留家なすの選果作業に参加する住民が増加している。	‘① 選果作業に係った人数	‘① 20 人	令和 4 年度末	R3 年度後期 高齢で持病が悪化したため、ご夫婦 2 名がやめられたが、物流機器の導入により労働効率アップが見込めるため当面、人員の補充はせず、物流機器の稼働後に実態を把握した上で再検討する。	2

				R4 年度前期 ‘①人数は 10 名となったが、選果機や野菜包装機の導入の結果、量目別仕分、袋詰めの自動化により労働効率が改善され、実質前年比△３名減の 10 名体制で余裕をもって対応している。	4
‘⑤狩留家なすの生産者が増加している。	‘① 生産者の人数	‘① 20 人	令和４年度末	R3 年度後期 後期の参加はなく、今期は前期の１名参加にとどまった。令和４年度前期には 2 名増加して 13 名となる見込みであるが、令和４年度末目標の２０名達成は難しいかもしれない。 R4 年度前期 ‘①R４年度は１３名で終了し、令和４年度末目標の２０名達成は難しい。 中期的には、農林振興センターの研修会を狩留家で実施したことから、参加者が増える可能性がある。	3 3
‘⑥留家なすの生産技術が向上している。	‘① 農業研修参加人数 ‘② 規格外品の割合	‘① 100 人（年間延べ） ‘② 30%	令和４年度末 令和４年度末	3 年度後期 ①集団研修はコロナ禍で十分な回数が開催出来ず累計 57 名の出席にとどまった。R４年度はコロナ対策も実施しながら、7 回以上の研修会の実施により累計 100 名以上を達成させたい。	3

				‘②10 月の規格外品の構成比は令和 3 年度 17.7%、令和 2 年度 17.3%でほぼ前年並み。年間での構成比は令和 3 年度 11.7%、令和 2 年度 13.5%であった。 また、廃棄品のデータは NPO 狩留家の直営圃場のものしかないが、規格外品と廃棄品の構成比はほぼ同率であったことから、規格外品＋廃棄品では 23.4%と推定されることから、廃棄品を加えた割合でも令和 4 年度の目標値は達成している。 R4 年度前期 ‘①４月から毎月１回定例的に農業研修を行い、９月までの実績で延べ６回、人数９５名の実績である。今後の会議の開催で、目標の１００名はカバーできる。 ‘②規格外品比率は特定圃場以外は大変改善されている。総体では 19.1%　11,880 個/62,309 個であった。 自家廃棄が規格外品とほぼ同数あるとすると 38.2%の規格外品が発生していると想定される。	2 1 3

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況

A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3.（任意）活動に関する報告

③　**広報に関する報告**

1.　シンボルマークの使用状況
☐自団体のウェブサイトで表示している　　☐広報制作物に表示している ☐報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☑その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：助成金で整備した建物にシンボルマークシールを貼り付けている。
2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） 【R3 年度後期】 2021 年 12 月 21 日　社協だより　タイトル「補助金が狩留家を支援」 2022 年 2 月 25 日　　高陽公民館だより　タイトル「地域特産品を活用して町づくりを進める狩留家地区」 【R4 年度前期】 2022 年 4 月 16 日　中国新聞　タイトル「広島ブランドに新たに特産 7 品」広島市が認定 2022 年 4 月 20 日　中国新聞　タイトル「狩留家なす大きく育て」安佐北区住民グループ苗植え 2022 年 5 月 8 日　公明党新聞　タイトル「特産なすを柱に町おこし」 2022 年 6 月 25 日　中国新聞　タイトル「夏の味覚　狩留家なす出荷を開始」 2022 年 6 月 30 日　高陽公民館だより　　「狩留家なす収穫祭開催のご案内」 2022 年 8 月 25 日　TSS テレビ　タイトル「和菓子に狩留家なす」

2022 年 8 月 25 日　中国新聞　「狩留家なす大福でＶ狙う」酸味と甘み絶妙シンプルレシピ
2022 年 8 月 27，28　旅立ちゲート広島　芸備線で行く、狩留家なす収穫体験
2022 年 8 月 27 日　中国新聞　狩留家なす一目ぼれ
2022 年 9 月 29 日　中国新聞　「狩留家なす」若者発グルメ　農家、出荷時に活用へ/うどん店チェーンが関心

2.広報制作物等

2022 年 5 月　　HP と連動した EC サイトを構築して公開
https://www.karuga.info/

3.報告書等

なし

4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

2022 年 4 月 15 日　主催　広島市　題名　ザ・広島ブランド認証式
2022 年 7 月 16 日　主催　NPO 狩留家　題名　「狩留家なす」収穫祭
2022 年 9 月 23 日　主催　NPO 狩留家　題名　狩留家レストラン
2022 年 9 月 23 日　主催　NPO 狩留家　題名　比治山大学　学生の狩留家なす試作試食会

添付資料

活動の写真（画像データは１枚２MG 以下、3～4 枚程度）

狩留家なす収穫祭（歓談中の松井広島市長）
令和４年７月

狩留家なす収穫祭（来場者による収穫体験）
令和４年７月

物流センターへの上下水道接続
令和４年７月

比治山大学　学生の狩留家なす試作試食会
狩留家レストラン
令和４年７月